

令和8年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金  
の評価結果及び交付見込額について

1 報告趣旨

令和8年1月21日付で国から令和8年度保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金の交付見込額の内示があった。

2 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金

(1) 概要

各市町村が行う自立支援・重度化防止の取組に対し、各目標の達成状況(評価指標による総合得点)に応じて、国から交付金を交付される。

(2) 目標 (①～⑥は「体制・取組」「活動」の指標で、⑦は「成果」の指標で評価)

- ① 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする
  - ② 公正・公平な給付を行う体制を構築する
  - ③ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する
  - ④ 介護予防/日常生活支援を推進する
  - ⑤ 認知症総合支援を推進する
  - ⑥ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する
  - ⑦ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む(両交付金共通)
- } 機能強化
- } 努力支援

(3) 予算配分

交付金の予算配分は、基本配分、追加配分(アウトカム指標配分枠及び保険者機能強化推進枠)に区分し、保険者機能強化推進交付金については成果指向型配分枠を別途設定。

(指標に基づく得点結果が基本配分。追加配分はアウトカム枠・強化推進枠を別途算定。)

① 保険者機能強化推進交付金(国の全体予算は令和7年度より6億円のマイナス)

8年度予算案	
基本配分	74%相当
追加配分	19%相当
成果指向型配分	7%相当

② 介護保険保険者努力支援交付金(国の全体予算は令和7年度と変更なし)

8年度予算案	
基本配分	95%
追加配分	5%

### 3 報告内容（活動指標：アウトプット・成果指標：アウトカム）

（1）令和8年度評価結果（体制・取組指標は自己申告、他は国が採点を実施）

目標		体制・取組指標		活動指標		成果指標		合計得点 県内順位
		配点	得点	配点	得点	配点	得点	
機能強化	持続可能形成	64	64	36	9	100	45	270/400点 9位/19市
	公正公平給付	68	68	32	20			
	介護人材確保	64	58	36	6			
努力支援	介護予防推進	52	45	48	15	100	45	251/400点 8位/19市
	認知症総支援	64	49	36	9			
	在宅医療体制	68	68	32	20			
機能強化・努力支援合計得点及び県内順位				521/800点（7位/19市）				

＜参考＞令和7年度の評価結果

目標		体制・取組指標		活動指標		成果指標		合計得点 県内順位
		配点	得点	配点	得点	配点	得点	
機能強化	持続可能形成	64	64	36	6	100	40	266/400点 8位/19市
	公正公平給付	68	68	32	24			
	介護人材確保	64	58	36	6			
努力支援	介護予防推進	52	29	48	18	100	40	224/400点 11位/19市
	認知症総支援	64	39	36	12			
	在宅医療体制	68	68	32	18			
機能強化・努力支援合計得点及び県内順位				490/800点（8位/19市）				

※令和7年度、令和8年度とも保険者機能強化推進交付金等評価指標に係る成果指向型配分枠は申請していない。

（2）交付額（基本配分+追加配分）の内示と使途

- ①保険者機能強化推進交付金 15,747千円（前年比1,749千円減）  
→重層的支援事業のうち、地域包括支援センター運営経費に充当する。
- ②介護保険保険者努力支援交付金 33,534千円（前年比2,284千円増）  
→介護予防生活支援サービス事業費に充当する。

### 4 結果の活用

評価結果は、自治体の取組の適否を表すものではなく、評価指標や配点、全体予算等も年度で微調整がおこなわれることから、単純な年度比較も難しい。得点を獲得できていない指標もあるが、地域の実情を踏まえたより良い取組を進めていく観点より、PDCAサイクルを回していく上での関係者間のコミュニケーションツールとして活用していく。